様式１‐１

コ　ア　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト　F　S　計　画　書

|  |
| --- |
| * 研究課題名
 |
| 　 |
| * 研　究　目　的
 |
| **※　当該コアプロジェクトが構築を目指す、「社会との協働による地球環境問題解決のために必要な理論・方法論」とは何か。また「その理論・方法論の構築が、なぜ、地球環境問題の解決のために必要か、また、どのように必要なのか」を中心に、研究目的を記載してください。** |
| * 研　究　概　要
 |
| **※　ＦＳの期間内に、当該コアプロジェクトのフィージビリティーを明らかにするために、どのような研究を、誰と協働して実施するのかについて、具体的に記載して下さい。** |
| * 当　該　研　究　課　題　に　関　す　る　こ　れ　ま　で　の　準　備　状　況
 |
| **※　当該コアプロジェクトの課題に関する先行研究の状況、研究者・研究機関（地球研プロジェクトを含む）との協働の状況、関連する社会のステークホルダーとの協働の状況について、記載して下さい。** |

注）この頁は２枚以内で記載してください。なお、申請書提出の際には、各項目の説明文（赤字部分）は削除してください。

|  |
| --- |
| * 研　究　の　プ　ロ　セ　ス　及　び　研　究　の　成　果　利　用　に　つ　い　て
 |
| **（１）実践プログラム等との連携のあり方****＊　当該コアプロジェクトの目的を遂行するに当たり、「実践プログラムのプロジェクト（現在地球研において行われているプロジェクトの多くは、平成28年4月から、実践プログラムに移行します）」から、どのような連携を引き出していくことを想定しているか。その必要性、実現可能性、具体的な方策などについて、記載して下さい。** |
| **（２）センター等を介した研究成果の活用のあり方****＊　当該コアプロジェクトの研究成果である「社会との協働による地球環境問題解決のために必要な理論・方法論」を、プロジェクト終了後に、どのように活用して行く予定か。「研究基盤国際センター」を介しての事業化など、具体的な活用のあり方、それに向けた具体的な方策などについて記載して下さい。** |

<div align="center"></div>注）この頁は、１枚以内で記載してください。なお、申請書提出の際には、各項目の説明文（赤字部分）は削除してください。

様式１－２

Ｆ　Ｓ　予　算　計　画　書

|  |
| --- |
| * 研究課題名
 |
| 　 |
| * 予算計画（所要経費合計）
 | 　　　　　　　　　千円 |  |
| 所要経費内訳 | 国内旅費 | 旅行区間（時期） | 職　名 | 日　数 | 回数 | 金　　額 |
|  |  | 泊　 日 |  | 　円 |
|  |  | 泊　 日 |  | 円 |
|  |  |  |  | 合計 千円 |
| 外国旅費 | 旅行区間（時期） | 職　名 | 日　数 | 回数 | 金　　額 |
|  |  | 泊 　日 |  | 　円 |
|  |  | 泊　 日 |  | 円 |
|  |  |  |  | 合計 　 千円 |
| 物件費等 | 品　名（規　格） | 数　量 | 単　価 | 金　　額 |
|  |  | @ | 　円 |
|  |  | @ |  円 |
|  |  |  | 合計 　 千円 |
| 諸謝金 | 作　業　内　容 | 員　数 | 単　価 | 金　　額 |
|  |  | @ | 　円 |
|  |  | @ |  円 |
|  |  |  | 合計 　 千円 |